

仙台市長選挙立候補予定者へのアンケート

A～Dの項目を選択(複数選択可)した上で、選択理由や不足分を、その他のフリー欄にご記入下さい。

1、福島原発事故による宮城県の放射能汚染について

2011年3月の東京電力福島第一原発事故による放射能汚染に宮城県も免れることはできませんでした。事故から4年半たっていますが、いまだその影響は残っています。

①拡散された放射性ヨウ素や放射性セシウムにより、特に子どもの健康への影響が懸念されています。福島県では190人を超える子どもに甲状腺ガンが見つかり、宮城県丸森町でも2人見つかっています。福島から仙台市に避難している人もいます。仙台市で希望する子どもに甲状腺エコー検査などの健康調査を実施すべきと考えますが、いかがでしょうか？

- A、(宮城県が行わないとしても)仙台市として、希望する子どもに健康調査を行うべき
- B、国の責任において、希望する子どもに健康調査を行うべき(仙台市として行うまでではない)
- C、現状で仙台市での健康調査は必要ない
- D、その他

②栗原、加美、大和の3市町が、環境省による宮城県内での8000Bq以上の放射能汚染指定廃棄物の最終処分場の候補地になり、住民の反対運動により現地調査が止まっています。この問題についてどのようにお考えですか？

- A、現在の環境省の計画を白紙撤回し、「各県に1カ所の処分場」という特措法方針を見直すべき
- B、現在の計画を一旦凍結し、宮城県として(首長会議などで)候補地選定をやり直すべき
- C、現在の計画のとおり、三候補地のいずれかに最終処分場をつくるべき
- D、その他

③8000Bq以下の放射能に汚染された牧草・稲わら・ほだ木について、宮城県知事が県内市町村に一斉焼却や堆肥化・すきこみの方針を提案しています。それに対し、8000ベクレル未満の汚染廃棄物を抱えていない仙台市の現市長奥山恵美子さんが仙台での焼却協力を昨年11月示唆しました。焼却や堆肥化・すきこみ処分をすれば、大地に空に海に放射能が拡散する可能性が高く危険だというのが、私たちの見解です。そして仙台市民の間に放射能拡散への不安が広がっています。この問題についてどのようにお考えですか？

- A、仙台市は他市町村の汚染廃棄物の焼却処理に協力すべきでない
- B、仙台市の焼却処理方針を一旦保留し、周辺住民・市民への説明会を開催するなど再検討すべき
- C、放射能の拡散はないという測定結果が環境省から出ているので、焼却処理を実施しても問題はない
- D、その他

④8000Bq以下の汚染廃棄物を焼却処理しないと、「保管している農家が大変」という声が上がります。宮城県は環境省の方針に従って「処理」方針を前提としていますが、一方農林水産省には「汚染廃棄物保管の補助金制度」があります。今から新たに保管庫を設置する費用も、汚染廃棄物の移動費用も補助金の対象です。農水省の補助金を活用して保管を強化すべきと考えますが、いかがですか？

- A、県民の安全を優先して、保管庫を設置するなど安全な保管の道を選択すべき
- B、市町村長会議での判断ではなく、各市町村での判断にゆだねるべき
- C、市町村長会議の総意で、進むべき道を選択すべき
- D、その他

2、女川原発の再稼働について

①東北電力は2018年の女川原発2号機の再稼働をめざし、原子力規制委員会に新規制基準適合審査を申請しています。また宮城県は専門家による「女川原子力発電所2号機の安全性検討会」を設置しています。この女川原発の再稼働についてどのようにお考えでしょうか？

A、被災原発である女川原発は再稼働せず廃炉にすべき

B、被災原発である女川原発の再稼働は、避難計画の実行性やUPZ(30 km)圏内の意見を聞くなど慎重に対処すべき

C、適合性審査に合格すれば、女川原発を再稼働すべき

D、その他

②女川原発は福島原発と同じ沸騰水型(BWR)マークI型ですが、3・11福島原発事故は原因がまだまだ十分に明らかにされていません。しかもその影響は現在も進行形です。そういう中での女川原発再稼働についてどのようにお考えですか？

A、女川原発再稼働の前に、3・11福島原発事故の原因を国が十分に調査し明らかにすることを優先すべき

B、福島原発事故の原因調査と並行して、女川原発の再稼働を検討してよい

C、福島原発事故はもう原因は明らかになっているので、女川原発再稼働の審査に影響はない

D、その他

3、エネルギー政策について

①経済産業省は、2030年のエネルギーミックス(電源構成)で、化石燃料56%、原子力20~22%、自然エネルギー22~24%という案を出しています(原子力、石炭、水力、地熱が「ベースロード電源」として6割になる、としています)が、どのようにお考えでしょうか？

A、原発の比率をゼロにすべき

B、原発の比率を減らすべき

C、この案は妥当だ

D、その他

②上記の質問で(A)または(B)を選択した方が答えてください。

いつまで原発をゼロにすべきかお聞かせください。

A、いまずぐ原発の比率をゼロにすべき

B、原発ゼロは2030年までに達成すべき

C、原発ゼロの達成目標年はまだ考えていない

D、その他

③現在仙台港周辺に3社が石炭火力・バイオマス火力発電所を建設または建設計画中です。被災地仙台市で市民の健康に影響しかねない排気ガスをまき散らす火力発電所の誘致に、私たちは反対です。しかも地球温暖化政策に逆行しています。石炭やバイオマスを燃料とする火力発電所の仙台港進出についてどのようにお考えですか？

A、石炭やバイオマスの火力発電所の誘致はしないし、進出にも反対する

B、排気ガスの基準を厳しくしてから、誘致や進出を市民の健康を守る立場で検討する

C、石炭・バイオマス火力発電所の建設に問題はない

D、その他

④仙台港に石炭・バイオマス火力発電所が進出するのは、関西より仙台が排気ガス排出基準が緩やかすぎる(窒素酸化物・硫黄酸化物は大阪市の7倍以上も緩やか)からとの指摘があります。石炭火力発電所を建設した「仙台パワーステーション」は7月より石炭燃焼の稼働実験を開始します。この問題をどのようにお考えですか？

A、条例を改正し、窒素酸化物・硫黄酸化物・2・5PMなどの有害物質の排出基準を関西なみに引き上げ、現在の仙台パワーステーションの能力を改善させる

B、モニタリングの値が上がる、または周辺住民の健康に影響が出たら、営業を停止させるなどの対応をとり、それから基準の強化を図る

C、今のままでよい

D、その他

4、その他ご意見がございましたら、よろしく願いいたします

お名前 ()

- ご多忙中のところ、アンケートにご協力下さりありがとうございました。